

| | ねらい | 項目 | 内容 ※低（低学年）中（中学年）高（高学年） |
|------------------|---|--|---|
| 教科学習時・総合的な学習時の安全 | 各教科・総合的な学習時における事故の発生状況と安全のきまり・約束等や安全確保の方法等について理解し、安全に学習できるようにする。 | 施設・設備と学習用具の安全 施設・設備と学習用具の点検と整備 運動や実習・実験・校外学習のときの安全 | 低・施設・設備や学習用具の正しい使い方 ・施設・設備や学習用具の安全な確かめ方 ・体育科・生活科学習時の安全 |
| | | | 中・事故の起こりやすい施設・設備や学習用具の安全な使い方 ・施設・設備や学習用具の使用前と使用後の安全点検の仕方 ・理科実験・校外学習時の安全 |
| | | | 高・施設・設備や学習用具による事故の現状とその原因 ・施設・設備や学習用具の安全点検と整備の仕方 ・図画工作・家庭科学習時の安全 |
| 児童会活動等の安全 | 児童会活動やクラブ活動等における事故の発生状況と安全のきまり・約束等や安全の確保の方法等について理解し、安全な行動ができるようにする。 | 児童会活動の安全 クラブ活動等の安全 活動計画の立て方と活動の安全 | 中・安全なクラブ活動の仕方 |
| | | | 高・体育的な活動や文化的な活動で起こりやすい事故と安全な行動の仕方 ・事故発生時の通報と安全な行動の仕方 ・安全に関する児童会活動の推進 |
| 学校行事における安全 | 学校行事等における事故の発生状況と安全のきまり・約束等や安全の確保の方法等について理解し、安全な行動ができるようにする。 | 運動会、校内競技大会等の安全 遠足・旅行・集団宿泊時の事故とその防止 交通機関の安全な利用と自由時間の事故の防止・勤労生産・奉仕的な活動等の安全 服装や健康の状態と事故の防止 | 低・運動会の安全な参加の仕方 ・バスや電車の安全な乗車の仕方 ・奉仕的な活動時の安全な行動の仕方 ・正しい服装の整え方 |
| | | | 中・水泳大会の安全な参加の仕方 ・自由行動時の約束と安全な行動の仕方 ・勤労・生産的な活動時の安全な行動の仕方 ・適切な服装の選び方 |

| | | | |
|---------------------------|---|--|--|
| | | | <p>高・運動会、水泳大会等の事故とその原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠足・集団宿泊時行事等の際の安全な行動の仕方と事故・災害が起きたときの行動の仕方 ・自由行動時に起こりやすい事故の危険と安全な行動の仕方 ・勤労・生産的な活動時に起こる事故とその防止 ・健康の状態の不安定にかかわって起こる事故 |
| 始業前や放課後等、 休み時間、清掃活動の安全 | 始業前や放課後等、 休み時間、清掃活動等作業時における事故の発生状況と安全のきまり・約束等や安全の確保の方法等について理解し、安全な行動ができるようにする。 | 学校施設に基づく事故の原因と安全な行動 学校生活での事故と安全な行動 清掃活動の安全 給食時の安全 | <p>低・学校施設での安全な行動の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下・階段歩行等学校生活の中での安全のきまり ・清掃用具の安全な使用の仕方 ・給食の安全な運搬の仕方 |
| | | | <p>中・施設・設備の安全な利用の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間中の安全な行動の仕方 ・安全な清掃作業の仕方 ・熱いものの配膳の仕方 |
| | | | <p>高・学校施設で起こる事故とその原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活で起こる事故とその原因 ・清掃や大掃除のときに起こる事故とその原因 ・給食時に起こる事故とその原因 |
| 登下校や家庭生活の安全 | 登下校のときに起こる事故や家庭の内外で起こる事故について理解し、安全な行動ができるようにする。 | 登下校時に起こる事故、犯罪被害とその防止 家庭の内外で起こる事故、犯罪被害とその防止 | <p>低・通学路を守った安全な登下校の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や家の周囲で安全な行動の仕方 |
| | | | <p>中・危険な行動、寄り道、遊び等での事故、犯罪被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や家の周囲で起こる事故、犯罪被害と安全な行動の仕方 |
| | | | <p>高・登下校の心身の状態と事故、犯罪被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家や遊び場で起こる事故、犯罪被害の原因と安全な行動の仕方 |

| | | | |
|--------------------|---|--|---|
| 野外活動等の安全 | 野外活動で起こる事故について理解し、安全に行動できるようにする。 | 水泳、登山、スキー、スケート、水辺活動等の事故と安全な行動 | 低・水泳、スキー、スケート等の安全のきまり |
| | | | 中・水泳、登山、スキー、スケート等の安全な活動の仕方 |
| | | | 高・野外での運動、自然教室等における危険と安全な行動の仕方 |
| 事件・事故災害発生時の安全・応急手当 | 事件・事故災害発生時の避難や通報の仕方、簡単な応急手当の仕方について理解し、適切に行動ができるようにする。 | 不審者侵入時の対応 けが人に対する介助の仕方 けがの応急手当の仕方と措置 熱中症・光化学スモッグ発生等の措置と応急手当の仕方 | 低・安全な避難の仕方 |
| | | | 中・安全な避難の仕方と教職員への通報 ・けが人の通報の仕方 ・簡単な応急手当の仕方 ・熱中症等の症状と応急手当の仕方 |
| | | | 高・安全な避難の仕方と教職員への通報 ・けがの種類と介助の仕方 ・けがの種類と応急手当の仕方 ・熱中症や光化学スモッグ発生時の連絡方法と手当の仕方 |
| 地域や社会生活での安全 | 地域・社会で起こる犯罪や危険について理解し、安全に行動ができるようにする。 | 地域での犯罪被害の現状と安全な行動 地域での犯罪被害の防止に関する活動や対策 地域・社会生活の安全に関する機関や団体の活動 地域・社会における自分たちの責任と役割 | 低・誘拐に遭わないために ・遊び場やその行き帰りでの安全 ・安全を守ってくれる人々 ・犯罪防止のための人々 |
| | | | 中・誘拐の起こりやすい場所と時間 ・安全な生活の仕方 ・安全を守ってくれる機関や団体の仕組み ・犯罪防止のための人々の役割 |
| | | | 高・身の回りでの犯罪の現状と安全な行動 ・防犯対策の理解と安全な生活の仕方 ・安全を守ってくれる機関や団体の理解と協力 ・犯罪防止のための人々についての理解と自分たちの役割 |

ねらい 「学校生活における安全確保の方法を理解し、安全に行動できる」

指導の
ポイント

安全のきまり・約束などを守り、安全に行動できる

事故の起こりやすい施設・設備や学習用具の安全な使い方を理解し、安全に使用できるようにする。発達段階に応じて、使用前と使用後の安全点検も行えるようにする。

目指す
子どもの姿

安全に生活するために

きまりや約束を守って行動する

○正しい使い方で、安全に気をつける

○危険を見つけたら、すぐに先生に伝える

学習の
ポイント

| 休み時間 | 学習時間 | 清掃活動・給食時 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 廊下・階段の安全な歩行 校庭の遊具の安全な使い方 手洗いうがい後は、水道の蛇口を下に向ける。 休み時間に、教室内で過ごすときの約束 | <ul style="list-style-type: none"> 体育館や校庭の運動施設・用具の正しい使い方 学習用具の正しい使い方 実験器具の正しい使い方 図画工作・家庭科等の実習時の安全 | <ul style="list-style-type: none"> 清掃用具の安全な使用の仕方 清掃や大掃除の時に起こる事故とその原因を知り、安全に清掃する。 給食の安全な運搬の仕方 給食時に起こる事故とその原因を知り、安全な行動をする。 |

自助・共助
のポイント

学校生活の中に潜む危険を予測し、回避する

危険な場所、危険な行動を見つけたらすぐに伝える

学習支援のポイント

- 学校生活の中で起こる事故について、それぞれの場面で具体的に説明し、施設・設備・学習用具等の正しい使い方を守ることの重要性について、しっかりと理解させる。
- 「ヒヤリ・ハッとする場面」があった際には、すぐに教職員間で必ず情報共有し、当該児童以外の児童にも安全な行動について指導し、大きな事故につながらないようにする。（一つの重大事故が発生する前には、多くの「ヒヤリ・ハット」の事例が生じている）＊「ハインリッヒの法則」より

ねらい 「登下校時の危険を理解し、安全な行動ができるようにする」

指導の
ポイント

通学路を守って、安全な登下校を心がける

登下校時に起こる事故や事件について理解し、身の回りの危険を予測し、回避する行動をとれるようにする。

目指す
子どもの姿

決められた通学路を通り

安全に気をつけて登下校する

○できるだけ友だちと一緒に登下校する

○いざというときに助けを求められるようにしておく

学習の
ポイント

危険箇所を知る

- ・高い塀が続く道
- ・トンネル（地下道や高架下など）
- ・路上駐車の多いところ
- ・田んぼや畑の中の本道
- ・人通りの少ないところ
- ・こども110番の家が少ない道

寄り道をしない

- ・寄り道をすると、悪い人に狙われやすくなる。
- ・「周りから見えにくい公園」や「誰でも入れる駐車場」などは、人目につきにくく、犯罪者にとっては都合の良い場所なので、特に気をつける。

身を守るための方法

- ・知らない人について行かない
- ・優しく見える人や困っているように見える人にも注意をする。（悪い人かもしれない）
- ・防犯ブザーを身につける。
- ・こども110番の家の場所を知る。
- ・不審な人を見かけたらすぐに大人に知らせる。

自助・共助
のポイント

登下校時の危険を予測し、回避する

安全確保のために必要な知識や能力を身に付ける

学習支援のポイント

- ・通学路を守り、周りの様子に気をつけ、できるだけ複数で登下校するようにさせる。
- ・危険を感じたときに助けを求める方法を確認し、日頃から練習しておく。
- ・事件や事故に遭ったらすぐに家族や学校に連絡するよう指導しておく。